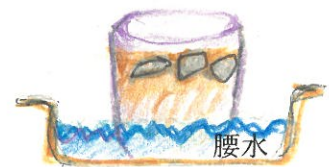


# ゴーヤでつくる「みどりのカーテン」

中野区「花と緑の祭典」実行委員会

## ●種から育てる

- ・ゴーヤの種は皮が硬いので発芽しやすいように種の先端を爪切りなどでカットします。
- ・ぬるま湯に2時間～一晩つけておきます。
- ・種まき用の土は水はけのよい種まき用の土を使いましょう。
- ・ポリポットに種まき用の土を7分目くらいまで入れ種を2～3粒ずつ平らに並べて1cmほど種まき用土をかけます。
- ・霧吹きかジョウロで上から優しく水をかけます。
- ・ポットの受皿に1cmほどの水を入れ腰水にします。
- ・ゴーヤの発芽温度は25℃～30℃なので、発砲スチロール箱に入れビニールをかぶせ夜の温度も20℃ぐらいに保てるようにすると一週間ほどで発芽します。  
温度が低いと発芽までに2週間ほどかかります。
- ・本葉が2枚開いたら、元気な苗を1本だけ残して間引きします。  
残す株の根を傷めないようハサミでカットしましょう。
- ・本葉が5枚になって根がしっかり育ってきたら植付です。

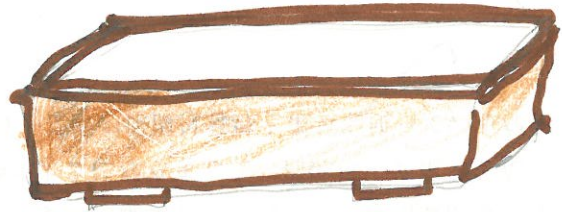


元気な方を残してカット

## ●プランターに植える場合

### <プランターの準備>

- ・野菜用のプランターを用意しましょう。



幅 65~70 × 奥行 45 × 高さ 38 70 リットル

### <用土>

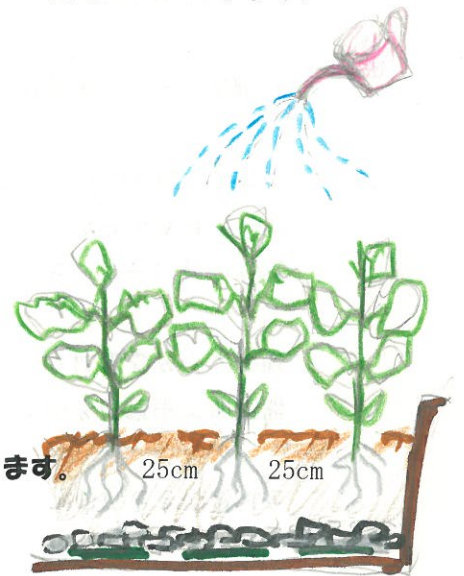
- ・プランターの底に鉢底石を敷き、市販の野菜用の土を使うと便利です。

土を自分でブレンドする場合

赤玉土(小粒):黒土:堆肥または腐葉土 = 3:3:4 の割合

苦土石灰ひとつかみと元肥を加え混ぜます。

- ・プランターに植える苗は 25cm~30cm 程度離して植えます。  
植付後プランターの底から水が出てくるまでたっぷり水を与えます。



### <ネットの張り方>

- ・ネットは市販されている「つる植物用」のネットを購入します。  
網の目の大きさは「10cm×10cm」のものが適しています。

- ・ネットの上下に支柱を通します。風にあおられないように「ピン」と張ります。

### <つるの誘引と仕立て方>

- ・ゴーヤーは子づるに多く雌花を咲かせる性質があります。
- ・本葉が 7~8 枚か、1m ぐらいの高さになった頃、親づるの先端をカットします。そうすると下の方の葉の根元から子づるが伸びてきます。
- ・出てきた子づるをネットの伸びてほしい方向に誘引します。つるを誘引する際は麻ひもやビニールのひも、ワイヤーの入った「ビニタイ」等で茎が食い込まないように、余裕をもってとめるようにします。





### 〈追肥〉

- ・定植して根付くまでは肥料を与える必要はありませんが、苗が根づいて茎がぐんぐんと伸び始めるころ追肥します。「葉が大きくならない」「葉の色が薄い」と感じたら肥料切れのサインです。
- ・主要成分チッソ・リン・カリの割合が等分のものが良いでしょう。2週間に1回ひとつまみほどプランター全体に散布するか、液体肥料を1週間に一回与えます。

### 〈収穫の適期〉

- ・受粉をしてから気温の高い時期なら約12日ですが、気温が低いと1か月近くかかります。
- ・全体が濃い緑色の状態から、イボの谷間の緑色が薄くなってくるとわかります。この時が収穫の適期です。

